

環境委員会

委員一覧 (20名)

委員長	牧山 ひろえ (※)	佐藤 信秋 (自民)	柳田 稔 (※)
理事	滝沢 求 (自民)	橋本 聖子 (自民)	竹内 真二 (公明)
理事	三木 亨 (自民)	松村 祥史 (自民)	浜田 昌良 (公明)
理事	鉢呂 吉雄 (※)	松山 政司 (自民)	伊藤 岳 (共産)
理事	片山 大介 (維新)	丸川 珠代 (自民)	寺田 静 (無)
	足立 敏之 (自民)	青木 愛 (※)	平山 佐知子 (無)
	尾辻 秀久 (自民)	芝 博一 (※)	(元. 11. 12 現在)

※ 立憲・国民、新緑風会・社民

(1) 審議概観

第200回国会において、本委員会に付託された法律案はなかった。

また、本委員会付託の請願2種類14件は、いずれも保留とした。

〔国政調査〕

11月14日、令和元年台風第19号による除染廃棄物の大型土のう袋流出事案への対応状況、米国のパリ協定脱退の正式通告による影響、他府県から海岸に流れ着いた災害廃棄物撤去の責任の所在及び財政支援の在り方、清掃工場の浸水対策を行っていない自治体への財政支援の必要性、令和元年台風第19号等に係る災害廃棄物処理経費に関し補正予算による対応の必要性、プラスチックの焼却処理が気

候変動対策に逆行していることへの懸念、再エネ海域利用法に基づく協議会に環境省が能動的に関与する必要性、東京オリンピック・パラリンピックにおける資源循環の取組に向けた環境大臣の認識等について質疑を行った。

12月5日、災害対応における自衛隊との連携強化策、原子力災害時の自主避難者発生抑制策、海洋プラスチックごみの中で最大の割合を占めるペットボトル対策の在り方、太陽光発電設備に係る環境影響評価法に基づく環境大臣の意見の在り方、厚手のレジ袋を有料化の対象とする必要性、食品業界の3分の1ルール改善のため省庁間で連携する必要性等について質疑を行った。

(2) 委員会経過

○令和元年11月12日(火) (第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 環境及び公害問題に関する調査を行うことを決定した。

○令和元年11月14日(木) (第2回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 令和元年台風第19号により流出した除去土壌

等の大型土のう袋の回収状況等に関する件、令和元年台風第19号等による災害廃棄物処理への支援の在り方に関する件、米国のパリ協定脱退の正式通告による影響等に関する件、洋上風力発電導入に当たっての環境省の役割に関する件、東京オリンピック・パラリンピックにおける資源循環の取組に関する件等

について小泉環境大臣、佐藤環境副大臣、石原内閣府副大臣、木環境大臣政務官、加藤環境大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

三木亨君（自民）、宮沢由佳君（※）、青木愛君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、伊藤岳君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和元年12月5日（木）（第3回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 災害廃棄物処理に係る国の支援に関する件、原子力災害対策における防護措置の在り方に関する件、レジ袋有料化の制度設計に関する件、太陽光発電設備の崩壊事故防止に係る基準強化に関する件、食品ロス削減に向けた取組に関する件等について小泉国務大臣、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

青木愛君（※）、浜田昌良君（公明）、片山大介君（維新）、伊藤岳君（共産）、寺田静君（無）、平山佐知子君（無）

○令和元年12月9日（月）（第4回）

- 請願第137号外13件を審査した。
- 環境及び公害問題に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。